

主要事業評価シート (第2次実施計画／R1・2・3年度)

①基本事項	計画コード	事業名			部名	上下水道部
	17012	公共下水道施設整備事業			課名	下水道課 下水道工務G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			財務科目目	会計 14:公共下水道事業会計
	基本施策	03:上下水道の充実				款 資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進				項 01:建設改良費
	戦略プロジェクト	-				目 01:管渠整備費
	事業予定期間	H 6	～	R 17	年度	主な根拠法令要綱等

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	生活排水処理アクションプログラムに基づき、未普及地域での計画的な公共下水道の整備を推進し、生活排水を適切に処理することにより、快適な生活環境と健全な水環境を維持していくことを目的とする。
	概要	公共下水道未普及地域での計画的な下水管渠整備を推進する。

③ 事業の計画・実績	年度計画	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		○管渠工事 一式			○管渠工事 一式 ○生活排水処理アクションプログラム 見直業務 一式			○管渠工事 一式 ○変更事業計画策定 一式		
年度実績	○管渠工事 (ポンプ設置含む) 管渠工L=4,104m									
事業の計画・実績	計画額	事業費	550,000千円	600,000千円			600,000千円			
		国庫支出金	238,000千円	240,500千円			240,500千円			
		県支出金								
		地方債	280,800千円	323,500千円			323,500千円			
		その他								
		一般財源	31,200千円	36,000千円			36,000千円			
	予算額	事業費	658,570千円							
		国庫支出金	252,819千円							
		県支出金								
		地方債	333,700千円							
		その他	72,051千円							
		一般財源	0千円	0千円			0千円			
	決算額	事業費 ①	645,900千円							
		国庫支出金	252,819千円							
		県支出金								
		地方債	333,700千円							
		その他	59,381千円							
		一般財源	0千円	0千円			0千円			
	人件費	総人件費 ②	31,396千円	0千円			0千円			
		一般職員	31,396千円	0千円			0千円			
		所要人員	4.00							
		会計年度任用職員等	0千円	0千円			0千円			
総コスト (①+②)		677,296千円	0千円			0千円				
受益者負担率		0.0%	0.0%			0.0%				

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称	公共下水道普及率	計画値	59	61
		成果	各年度末の普及率(公共下水道整備人口/住民基本台帳人口)	実績値	59	
				単位	%	%
	②	名称	公共下水道整備率	計画値	54	60
		成果	各年度末の整備率 (公共下水道整備面積/公共下水道全体区域面積)	実績値	55	
				単位	%	%
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 三重県生活排水処理アクションプログラムの見直しが次年度に予定されており、それに併せて、早期の事業完了、持続的な汚水処理システムの構築に向けた事業計画の見直しを検討していく必要がある。 事業計画の見直しにあたり、経済的・効果的な整備手法等の情報収集、導入検討を図る。 また、汚水処理計画の変更等については、地域住民の理解が不可欠であり、意向調査等を実施し、見直しに必要な業務を進める。	
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 汚水処理計画変更のため地域住民への意向調査を実施した。研修会等に積極的に参加し、実現可能な工法、手法等の情報収集を実施した。 また事業地での住民説明会を開催し、事業の普及啓発に努めた。	

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおりの国庫補助金を活用し、下水道未普及地域において約4.1kmの管渠整備を実施し、整備(供用)面積で59.0haの下水道整備を進めることができた。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 本年度は管渠整備に加え、みずきが丘団地を公共下水道に接続したことから市内の公共下水道普及率は52.9%から58.8%となり概ね目標を達成することができた。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 国より早期の汚水処理事業完成を求められており、国庫補助金を活用していくには、現計画より期間の短縮を検討していく必要がある。	今後の方向性 ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 廃止 ☐ その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 早期の事業完了を目指すには、事業費の縮減と財源確保が不可欠である。 経済的・効果的な整備手法への計画変更を検討する。 また、下水道事業について地域説明会の開催で住民の理解を深め、円滑な事業進捗と下水道への接続の早期実現に努める。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 早期完成を目指し、生活排水処理アクションプログラムの見直しを行い、事業費の縮減及び期間の短縮を図る。	
	対応時期	令和2年度以降	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 水越 洋光
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 松尾 敏

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B		
	成果	B	B	B		

■令和元年度予算額(事業費)の内訳

内訳	予算額(事業費)	658,570 千円
	平成30年度からの繰越額	132,460 千円
	令和元年度の最終予算額	592,560 千円
	令和2年度への繰越額	▲66,450 千円